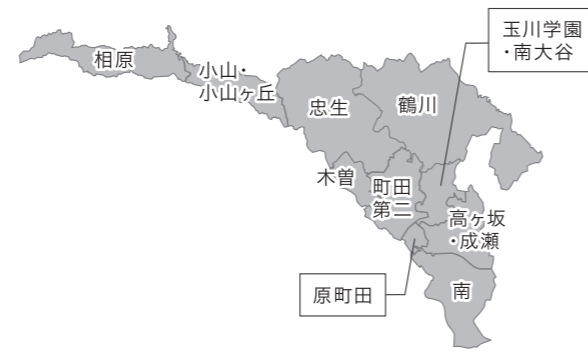


まちをつなげる町田人

町田市内全10地区で設立されている団体のネットワーク「地区協議会」。それぞれの地区で活躍している町田人の10編のストーリーをご紹介します。

町田第二	7
高ヶ坂・成瀬	8
忠生	9
玉川学園・南大谷	10
小山・小山ヶ丘	12
木曾	13
南	14
相原	15
鶴川	16
原町田	18

各ページのバーコードを読み取ると、町田市ホームページの各地区協議会のページをご覧いただけます。



子ども達の安全・安心を守る

町田市の中心市街地に近く、住宅が立ち並ぶ町田第二地区では、毎朝、子どもの見守りが行われている。月曜日から金曜日と学校がある土曜日の登校時、そして時期を決めて下校時の一斉見守りも実施し、地域全体で子ども達の安全を見守っている。

毎朝、交差点に立っている笠原良子さん。町田第二地区協議会が設立された6年ほど前から、見守り活動を始めた。

友人から誘われたPTA活動がきっかけで、子どもに関する様々な活動に携わるようになった。その活動を通して、日々の暮らしが地元の方の優しさに支えられていることを知り、地元へ恩返しをしたいという想いが生まれたという。

「毎日見守りを続けていることで、子ども達がだんだんと心を開いてくれるんです。最初は恥ずかしがっていた子が、挨拶をしてくれると嬉しいです。時々、元気のなさそうな子と一緒に学校に行ったりすることもあります。」同じ道を通って通勤する大人たちも、今ではすすんで挨拶

をしてくれるようになった。

コロナ禍でも、学校がある時期は見守りを続けている。昨年の緊急事態宣言解除直後は、「みんなはいつも通り元気に登校してくるだろうか」と不安だったが、子ども達の元気に登校する姿を見てほっとしたという。また、テレワークによって朝の時間に余裕ができた大人たち

が、見守り活動に参加してくれるようになった。

子ども達の感謝の声は何よりも嬉しいという笠原さん。「ずっと見守りを続けている地元の先輩たちに追いつけるよう、まだまだ頑張りたいです」と、優しい笑顔で語った。



毎日身につけている見守りグッズ。「横断中」の旗は2代目のこと。